

第2章 高齢者を取り巻く現状と課題

第2章 高齢者を取り巻く現状と課題

第1節 日常生活圏域の設定

1 日常生活圏域の考え方

介護保険事業計画においては、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を継続できるように、町の地理的条件、人口、交通事情やその他の社会的条件、介護給付等対象サービスを提供するための施設整備の状況、その他の条件を総合的に勘案し、日常生活圏域を設定して取り組むことが求められています。

地域密着型サービス等の整備方針や提供体制の構築については、この日常生活圏域を基本とします。

2 日常生活圏域の設定

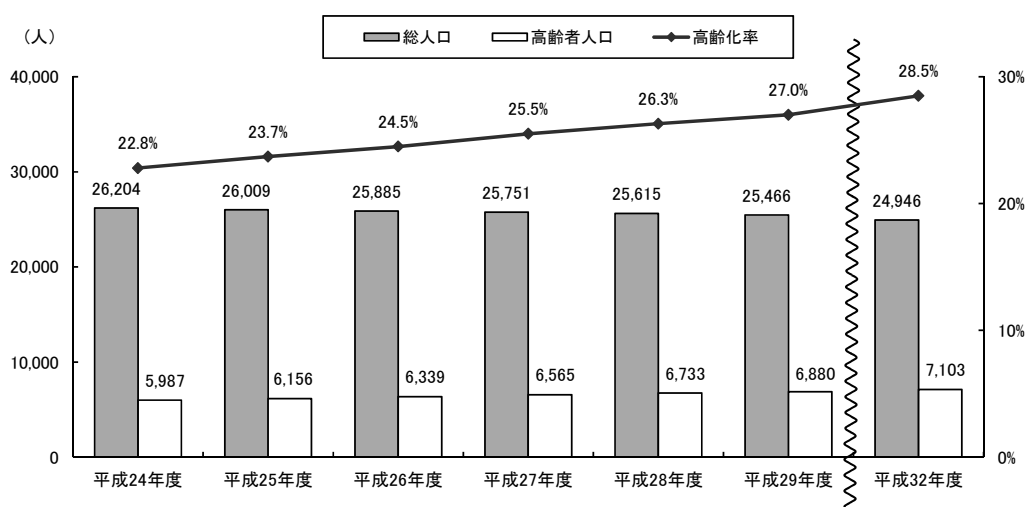
本町では、平成18年度に全町を一つの日常生活圏域として設定しました。本計画の策定時においても、再度検討しましたが、第5期と比べても本町の状況に大きな変化がないことから、また本町においては、各種行事等が町全体で行われており、住民が一体感を持っている点等を考慮し、今後も町全体を一つの日常生活圏域とすることとし、今後の基盤整備を推進していきます。

第2節 高齢者を取り巻く状況

1 高齢者人口の推移及び推計

本町の65歳以上の高齢者人口は年々増加しており、今後も増加し続けるものと予測されます。平成29年度には、住民基本台帳に基づく65歳以上の高齢者人口は6,880人、高齢化率は27.0%になると見込まれます。

■総人口における高齢者人口の推移及び推計



(単位：人、%)

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
総人口	26,204	26,009	25,885	25,751	25,615	25,466	24,946
高齢者人口	5,987	6,156	6,339	6,565	6,733	6,880	7,103
前期高齢者人口 (65歳～74歳)	3,014	3,176	3,345	3,510	3,634	3,757	3,893
後期高齢者人口 (75歳以上)	2,973	2,980	2,994	3,055	3,099	3,123	3,210
高齢化率 (%)	22.8	23.7	24.5	25.5	26.3	27.0	28.5
40歳～64歳人口	9,158	9,051	8,975	8,858	8,795	8,681	8,456

※平成24年度～平成26年度は、住民基本台帳の実績値。(各年4月1日現在)

※平成27年度以降は、実績値を基に推計。

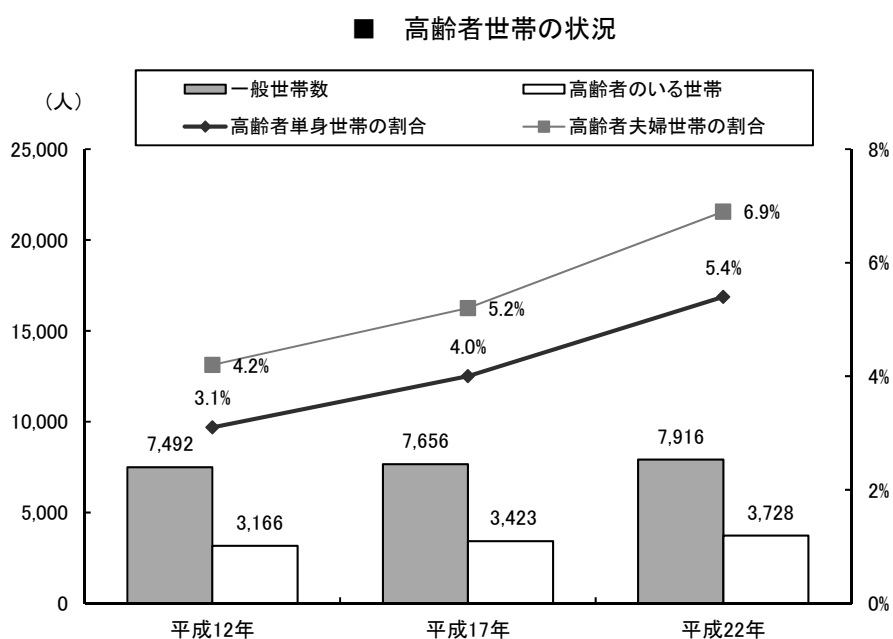
※高齢化率は、65歳以上の高齢者人口が総人口に占める割合。

2 高齢者世帯の状況

本町の世帯の状況を国勢調査の結果で見ると、総世帯数、一般世帯数ともに増加傾向にあります。

一般世帯のうち高齢者のいる世帯は、平成22年調査で3,728世帯(47.1%)となっており、一般世帯の半数近くに高齢者がいることがわかります。

高齢者単身世帯は、平成12年調査から194世帯増加し、424世帯になっています。また、高齢者夫婦世帯も平成12年調査から231世帯増加し、546世帯になっています。



(単位：世帯、%)

	平成12年	平成17年	平成22年
総世帯数 (A)	7,498	7,666	7,923
一般世帯数 (B)	7,492	7,656	7,916
高齢者のいる世帯 (C)	3,166	3,423	3,728
比率 C/B (%)	42.3	44.7	47.1
高齢者単身世帯 (D)	230	309	424
比率 D/B (%)	3.1	4.0	5.4
高齢者夫婦世帯 (E)	315	396	546
比率 E/B (%)	4.2	5.2	6.9

※国勢調査より引用

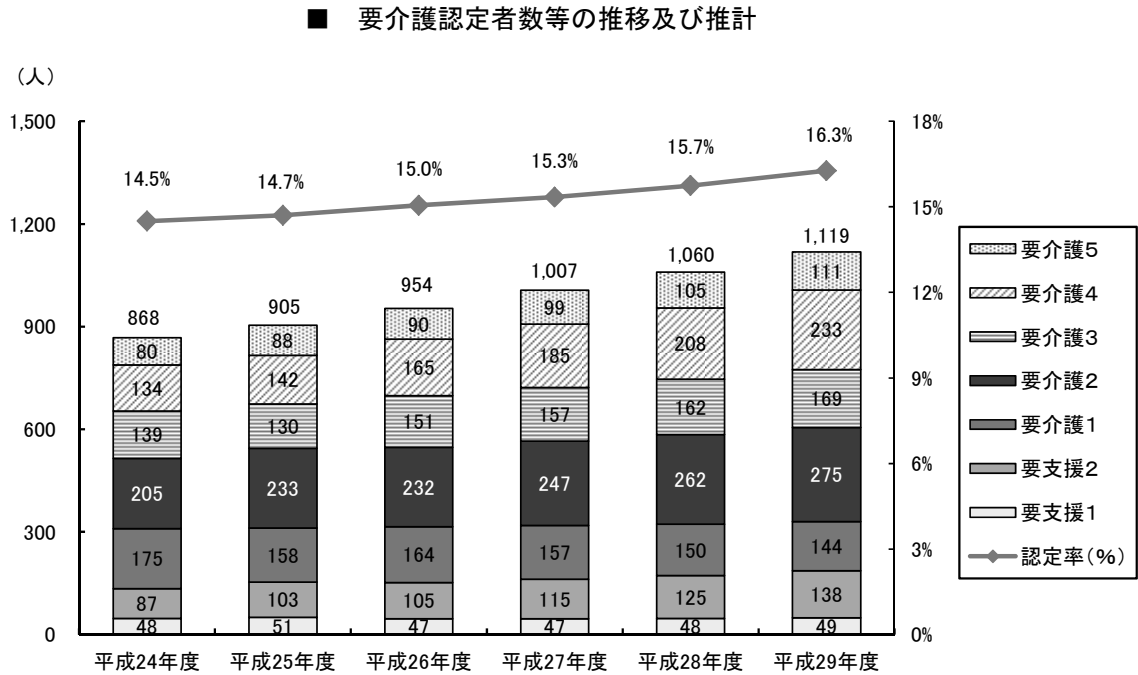
※一般世帯 (B) は、総世帯のうち、施設の入所者や病院の入院者等を除いた世帯数

※高齢者夫婦世帯 (E) は、夫65歳以上妻60歳以上の1組の一般世帯数

3 要介護認定者数等の推移及び推計

要介護（要支援）認定者数については、年々増加しており、今後も増加し続けるものと予測されます。平成 29 年度には 1,119 人になると見込まれます。

また、要介護認定者の高齢者に占める割合（認定率）は、平成 29 年度で 16.3% になると見込まれます。



(単位: 人、%)

	要支援・要介護認定者数					
	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
要支援 1	48	51	47	47	48	49
要支援 2	87	103	105	115	125	138
要介護 1	175	158	164	157	150	144
要介護 2	205	233	232	247	262	275
要介護 3	139	130	151	157	162	169
要介護 4	134	142	165	185	208	233
要介護 5	80	88	90	99	105	111
合 計	868	905	954	1,007	1,060	1,119
認定率	14.5%	14.7%	15.0%	15.3%	15.7%	16.3%

※平成 24 年度及び平成 26 年度は、本町の実績値。平成 27 年度以降は推計値。

※第 2 号被保険者の認定者を含む。

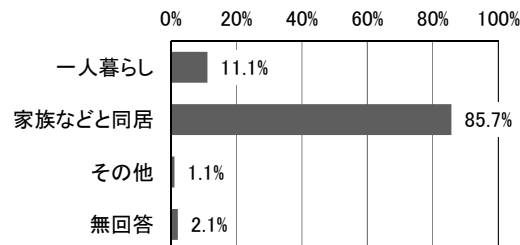
※要介護認定率＝要支援・要介護認定者合計÷高齢者人口

第3節 アンケート調査結果の概要 (n=回答者数)

1 日常生活圏域ニーズ調査 (65歳以上の方)

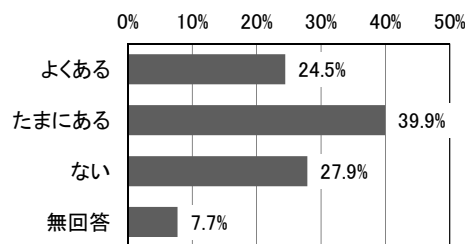
Q 家族構成をお教えてください。(n=377)

「家族など同居」と回答した方が85.7%と最も多く、続いて「一人暮らし」が11.1%となっています。



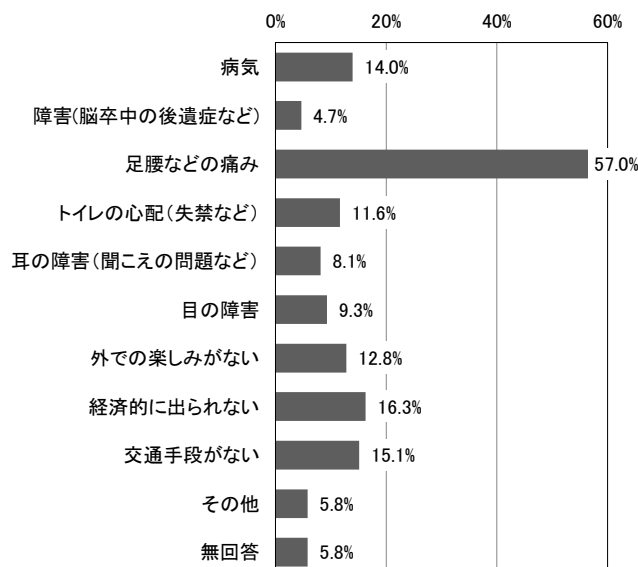
Q 家族など同居されている方にお聞きします。日中、一人になることがありますか。(n=323)

「たまにある」と回答した方が39.9%と最も多く、「よくある」の24.5%と合わせると64.4%の方が家族と同居していても、日中は一人になることがあると回答しています。



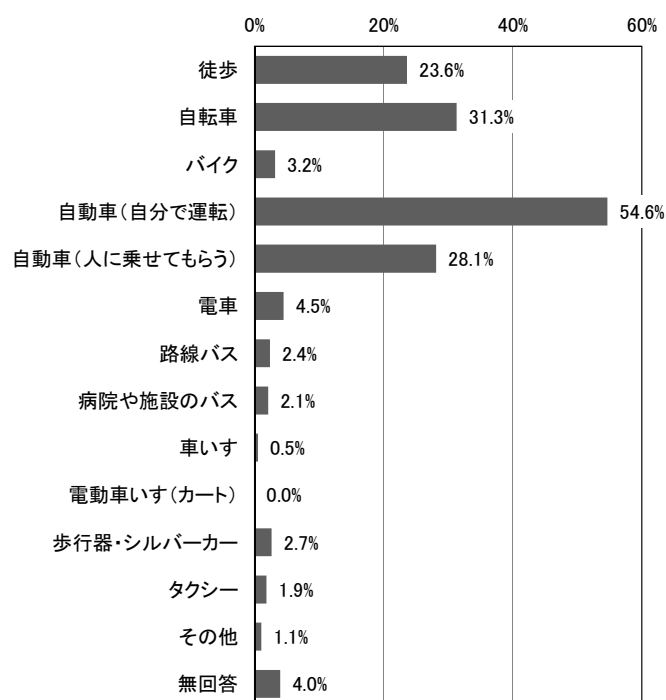
Q 外出を控えている方のみにお聞きします。外出を控えている理由は、次のどれですか。(いくつでも) (n=86)

「足腰の痛み」と回答した方が57.0%と最も多く、続いて「経済的に出られない」が16.3%、「交通手段がない」が15.1%となっています。



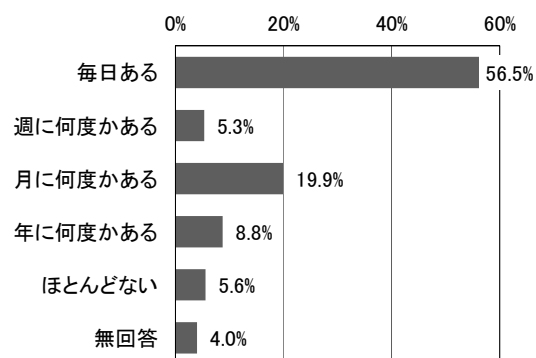
Q 外出する際の移動手段は何ですか。(いくつでも) (n=377)

「自動車(自分で運転)」と回答した方が54.6%と最も多く、続いて「自転車」が31.3%、「自動車(人に乗せてもらう)」が28.1%となっています。



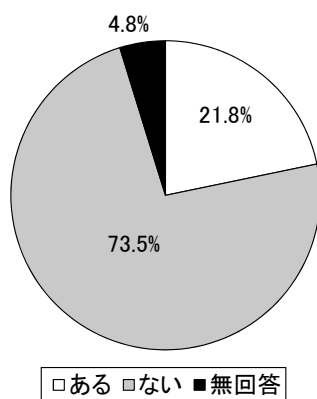
Q 自分一人でなく、どなたかと食事をとる機会がありますか。(n=377)

「毎日ある」と回答した方が56.5%と多く、続いて「月に何度かある」が19.9%となっています。



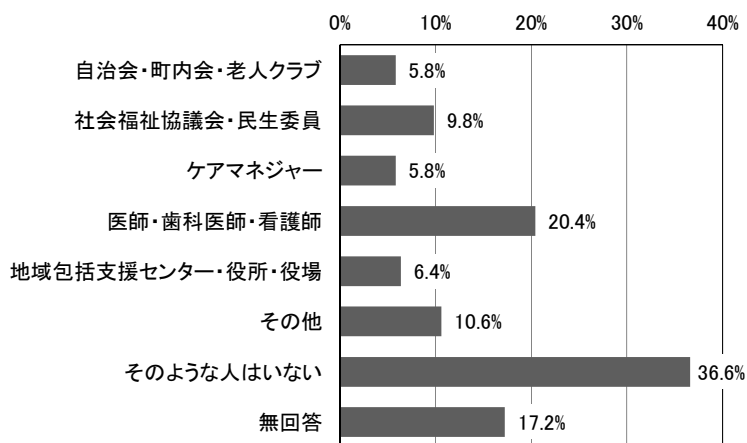
Q 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか。
(n=377)

言われることが「ある」と回答した方が 21.8%、「ない」と回答した方が 73.5%となっており、約 2 割の方が物忘れがあると回答しています。



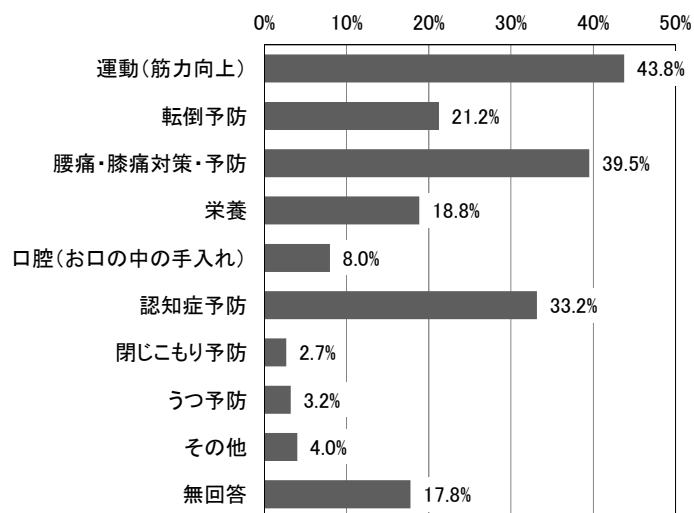
Q 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(いくつかつでも) (n=377)

「医師・歯科医師・看護師」と回答した方が 20.4%と多く、続いて「社会福祉協議会・民生委員」が 9.8%となっています。また、「そのような人はいない」という回答が 36.6%となり、4 割弱の方が相談相手がないと回答しています。



Q 介護予防のために以下のような事業への参加を紹介された場合、どれに参加したいですか。(いくつでも) (n=377)

「運動(筋力向上)」と回答した方が43.8%と最も多く、続いて「腰痛・膝痛対策・予防」が39.5%、「認知症予防」が33.2%となっています。

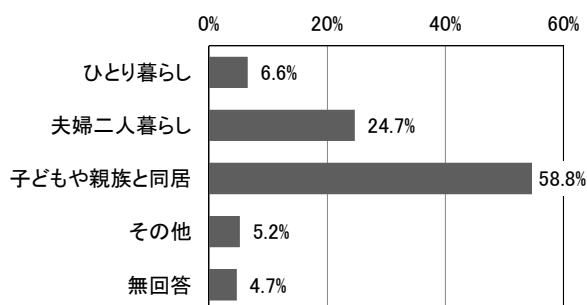


2 境町高齢者福祉計画及び第6期介護保険事業計画策定のためのアンケート調査

(1) 65歳以上調査

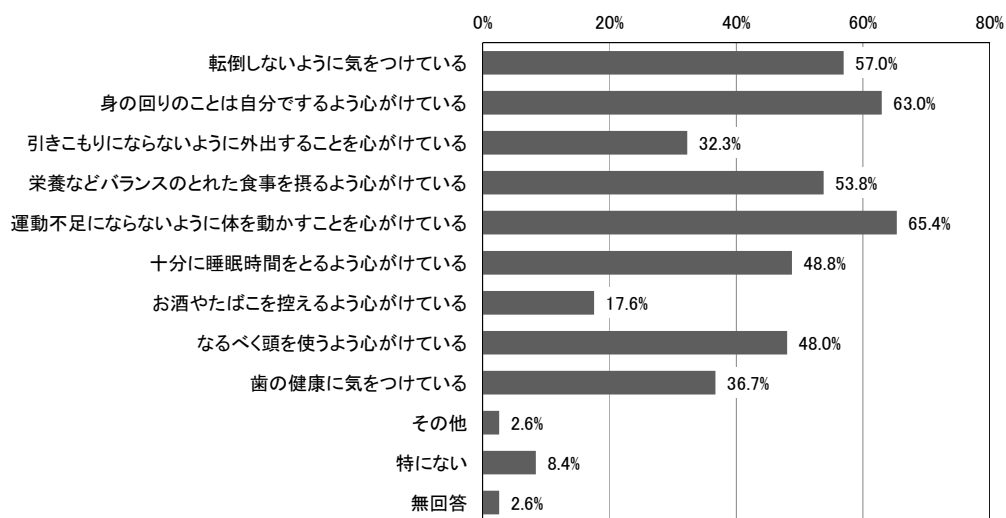
問 世帯構成は次のうちどれですか。(○は1つ) (n=381)

「子どもや親族と同居」と回答した方が58.8%と最も多く、続いて「夫婦二人暮らし」が24.7%、「ひとり暮らし」が6.6%となっています。



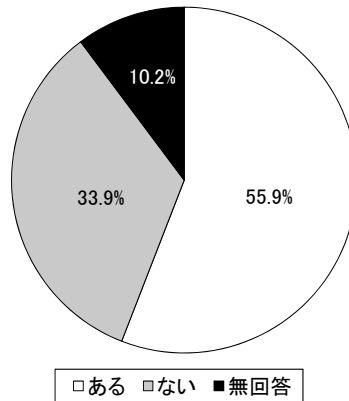
問 あなたは、日ごろ生活する上で、気をつけていることはありますか。
(該当するものすべてに○) (n=381)

「運動不足にならないように体を動かすことを心がけている」と回答した方が65.4%と多く、続いて「身の回りのことは自分でできるよう心がけている」が63.0%、「転倒しないように気をつけている」が57.0%となっています。



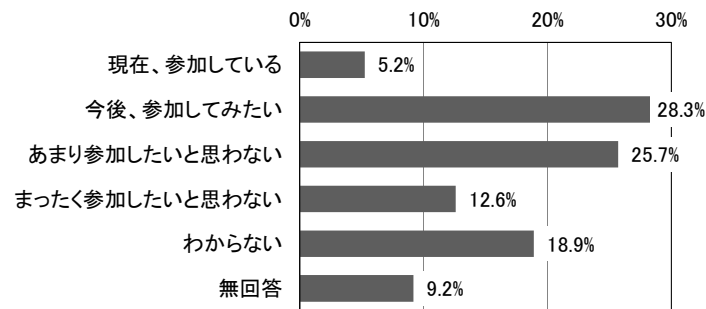
問 介護予防（できるだけ介護が必要な状態にならないようにするための教室等）に関心がありますか。（○は1つ）（n=381）

「ある」と回答した方が55.9%で、「ない」と回答した方が33.9%となっています。



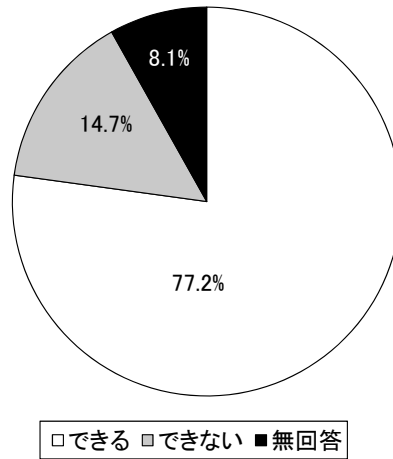
問 介護予防のためのさまざまな講習やトレーニングに参加してみたいと思いますか。（○は1つ）（n=381）

「今後、参加してみたい」と回答した方が28.3%と最も多く、「現在、参加している」と合わせて33.5%の方が参加している、してみたいと回答しています。



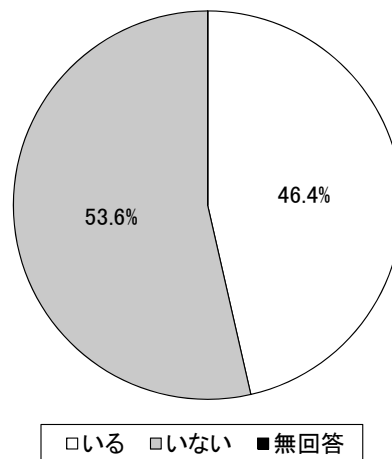
問 あなたは地震などの災害発生時に自宅から避難所まで自力で避難ができますか。
(○は1つ) (n=381)

「できる」と回答した方が77.2%で、「できない」が14.7%となっています。



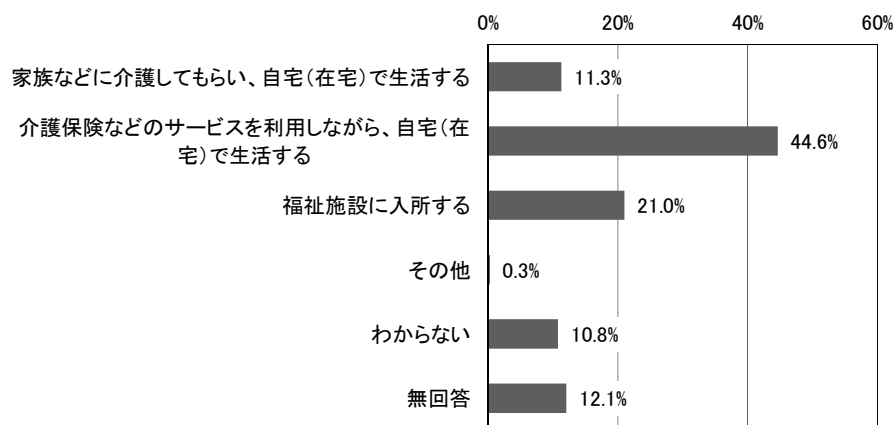
問 前問で出来ないと回答した方で地震などの災害発生時の避難を助けてくれる家族以外の方はいますか。(○は1つ) (n=56)

「いない」と回答した方が53.6%で、「いる」が46.4%となっています。



問 あなたが、介護が必要な状態となった場合、どのようにしたいと思いますか。
(〇は1つ) (n=381)

「介護保険などのサービスを利用しながら、自宅(在宅)で生活する」と回答した方が44.6%と最も多く、続いて「福祉施設に入所する」が21.0%、「家族などに介護してもらい、自宅(在宅)で生活する」が11.3%となっています。

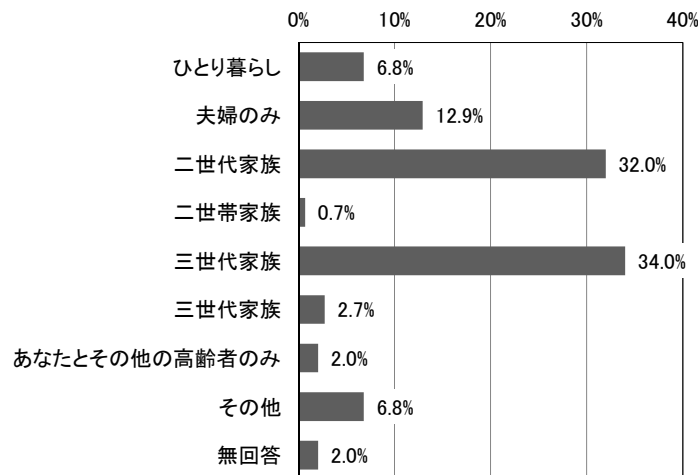


(2) 65歳以上の要介護認定者調査

問 あなたの世帯状況について教えてください。(○は1つ) (n=147)

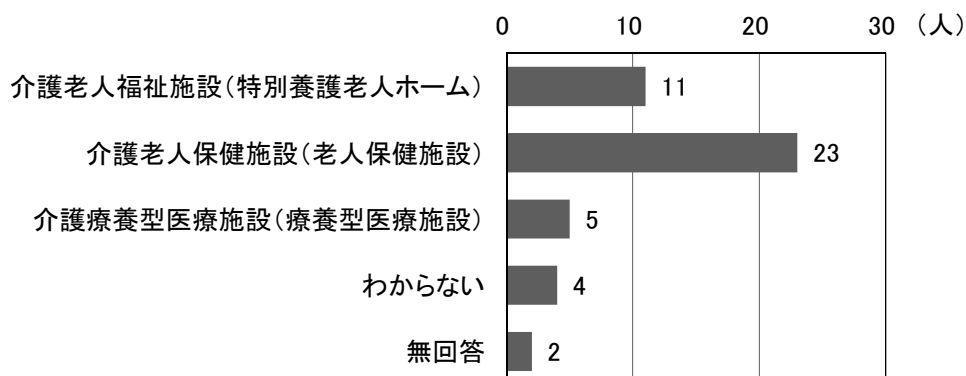
「三世代家族(あなた、子ども、孫)」と回答した方が34.0%と最も多く、続いて「二世代家族(あなた、子ども)」が32.0%、「夫婦のみ」が12.9%となっています。

「ひとり暮らし」が6.8%、「夫婦のみ」が12.9%で合わせると約2割の方が高齢のみの世帯となっています。



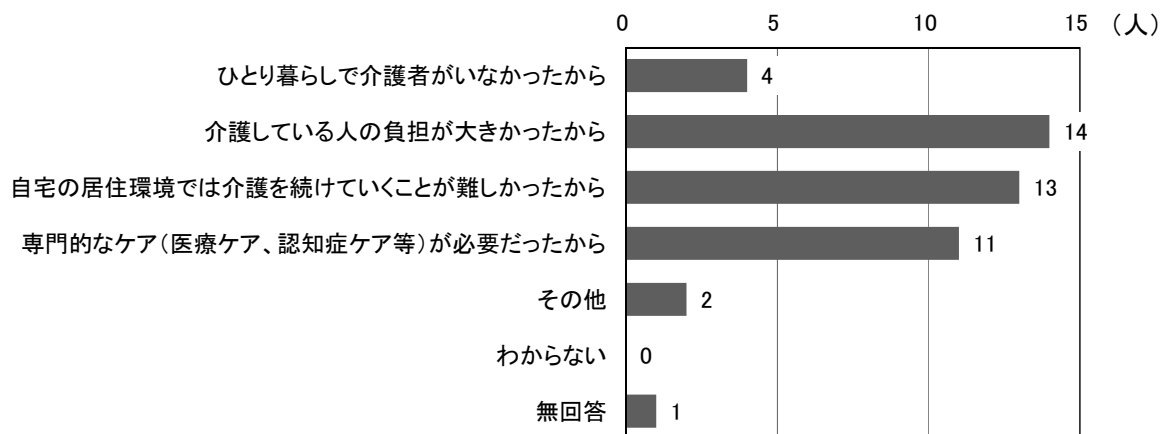
問 現在、あなたが入所している施設はどれですか。(○は1つ) (【施設入所者】n=45)

「介護老人保健施設(老人保健施設)」の回答が23人と多くっており、続いて「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)」が11人、「介護療養型医療施設(療養型医療施設)」が5人となっています。



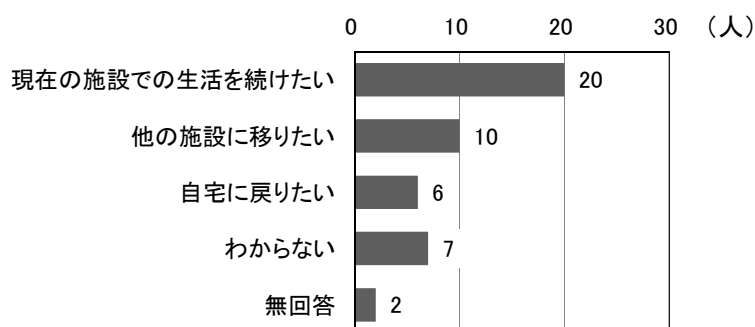
問 施設での生活を選んだ主な理由は何ですか。(○は1つ) (【施設入所者】 n=45)

「介護している人の負担が大きかったから」の回答が 14 人と多くっており、続いて、「自宅の居住環境では介護を続けていくことが難しかったから」が 13 人、「専門的なケア(医療ケア、認知症ケア等)が必要だったから」が 11 人となっています。



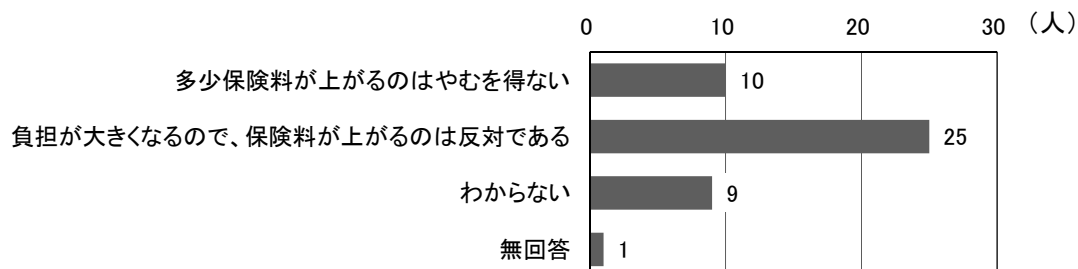
問 今後の生活についてどのようにお考えですか。(○は1つ) (【施設入所者】 n=45)

「現在の施設での生活を続けたい」の回答が 20 人と多くっており、続いて「他の施設に移りたい」が 10 人となっています。



問 今後高齢化が進み、介護保険を利用する方も増えていくことが予想されます。そうすると、介護保険の財源もさらに必要になり、保険料が上がる可能性があります。このことについてどう思いますか。(○は1つ) (【施設入所者】 n=45)

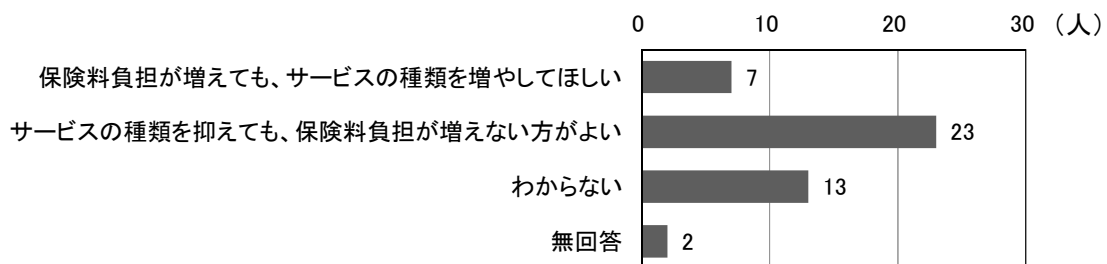
「負担が大きくなるので、保険料が上がるのは反対である」の回答が 25 人と多く、続いて「多少保険料が上がるのはやむを得ない」が 10 人となっています。



問 介護保険制度では、保険給付の対象となるサービスの種類が定められていますが、各市町村ごとに新たなサービスの種類を増やすことができます。この場合、皆さんの保険料負担が増えることとなりますが、このことについてどう思いますか。

(○は1つ) (【施設入所者】 n=45)

「サービスの種類を抑えても、保険料負担が増えない方がよい」の回答が23人と多くなっています。「保険料負担が増えても、サービスの種類を増やしてほしい」が7人となっています。

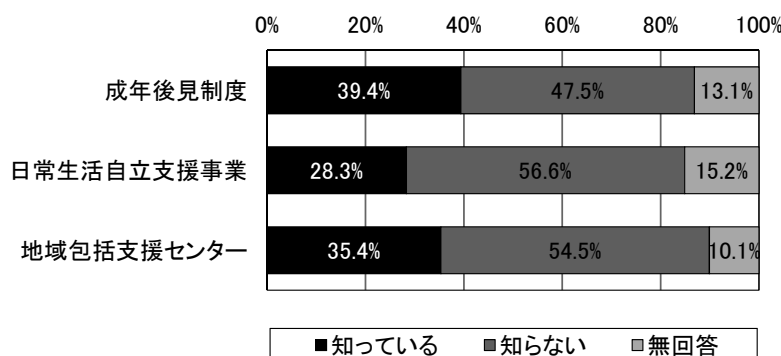


問 次の事業や施設を知っていますか。(それぞれに○は1つ) (【在宅の方】 n=99)

「成年後見制度」では、「知っている」が39.4%で約4割の方となっています。

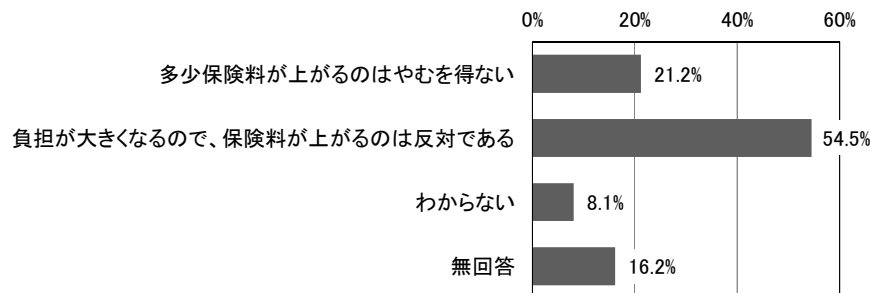
「日常生活自立支援事業」では、「知っている」が28.3%で約3割の方となっています。

「地域包括支援センター」では、「知っている」が35.4%で4割弱の方となっています。



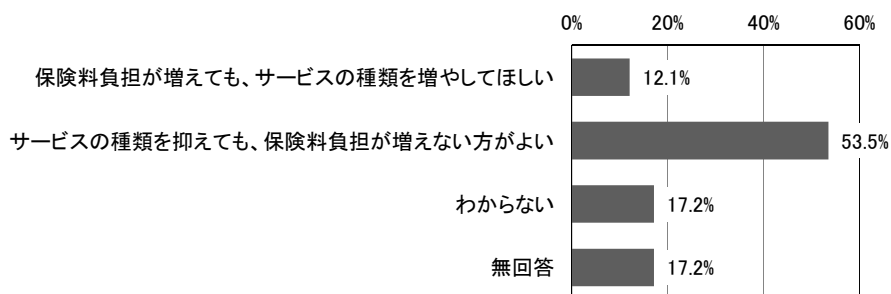
問 今後高齢化が進み、介護保険を利用する方も増えていくことが予想されます。そうすると、介護保険の財源もさらに必要となり、保険料が上がる可能性があります。このことについてどう思いますか。(○は1つ) (【在宅の方】 n=99)

「負担が大きくなるので、保険料が上がるのは反対である」と回答した方が54.5%と最も多く、続いて「多少保険料が上がるのはやむを得ない」が21.2%となっています。



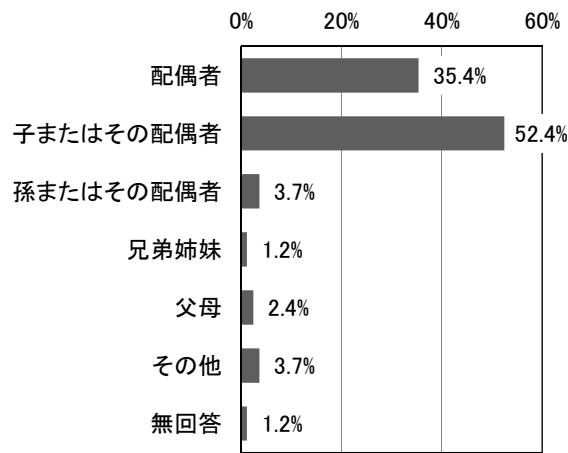
問 34 介護保険制度では、保険給付の対象となるサービスの種類が定められていますが、各市町村ごとに新たなサービスの種類を増やすことができます。この場合、皆さんの保険料負担が増えることになりましたが、このことについてどう思いますか。(○は1つ) (【在宅の方】 n=99)

「サービスの種類を抑えても、保険料負担が増えない方がよい」と回答した方が53.5%と最も多く、また「保険料負担が増えても、サービスの種類を増やしてほしい」が12.1%となっています。



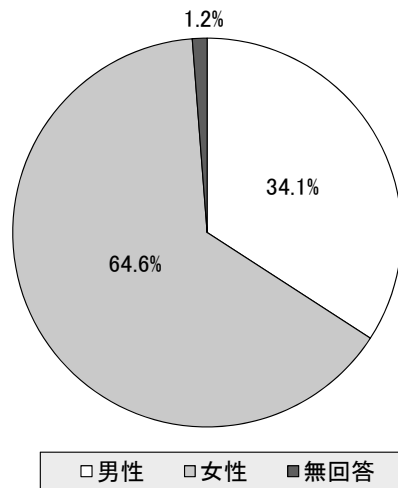
問 日ごろ、あなたを介護しているのは主にどなたですか。調査対象のご本人からみた続柄をお答えください。(○は1つ) (【在宅の方】 n=82)

「子またはその配偶者」と回答した方が52.4%と最も多く、続いて「配偶者」が35.4%となっています。



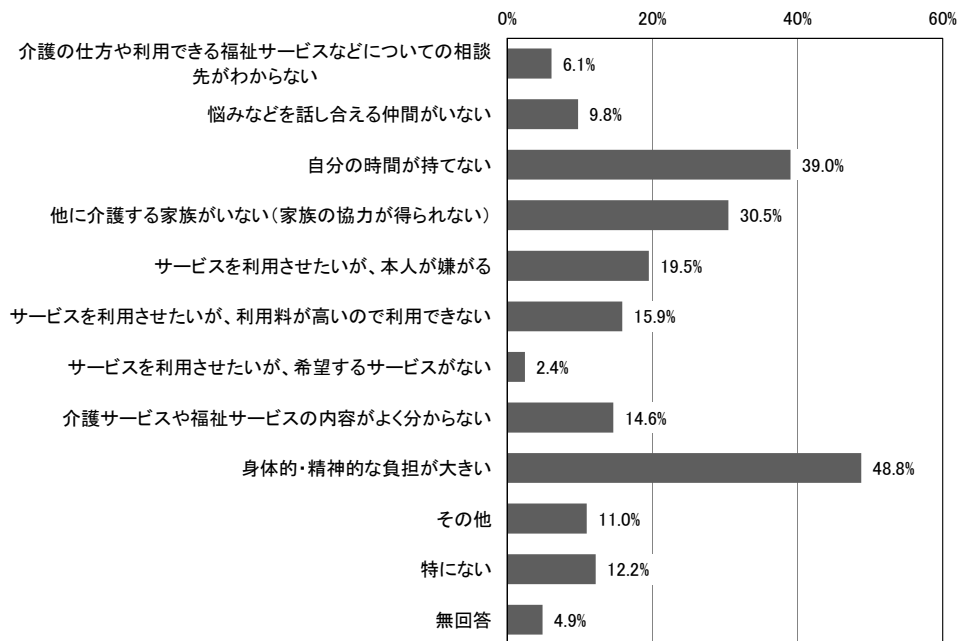
問 主な介護者の性別をお答えください。(【在宅の方】 n=82)

「女性」と回答した方が64.6%で「男性」が34.1%となっており女性が多くなっています。



問 主な介護者が困っていることはありますか。(〇はいくつでも) (【在宅の方】n=82)

「身体的・精神的な負担が大きい」と回答した方が48.8%と最も多く、続いて「自分の時間が持てない」が39.0%、「他に介護する家族がいない(家族の協力が得られない)」が30.5%となっています。



(3) 介護支援専門員調査

問 現在の業務量についてどのように思いますか。(〇は1つ) (n=16)

「やや負担が大きい」が7人と多く、続いて「ふつう」が6人となっています。

項目	回答数	構成比
かなり負担が大きい	0	0.0%
やや負担が大きい	7	43.8%
ふつう	6	37.5%
負担はあまり大きくない	1	6.3%
負担は小さい	2	12.5%
無回答	0	0.0%
合計	16	100.0%

問 どのような業務に特に負担を感じますか。(〇はいくつでも) (n=16)

「主治医や他の専門職との連絡・調整」、「介護予防ケアプランの作成」が同数の6人で多くなっています。

項目	回答数	構成比
利用者本人と家族の意向との調整	5	31.3%
サービス事業者との連絡・調整	3	18.8%
主治医や他の専門職との連絡・調整	6	37.5%
家族との連絡	5	31.3%
ケアプランの作成	5	31.3%
介護予防ケアプランの作成	6	37.5%
その他	5	31.3%
負担を感じる業務はない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	16	

問 介護支援専門員と介護サービス事業者との連携はとれていると思いますか。

(〇は1つ) (n=16)

「まあとれている」が10人と多く、続いて「とれている」が5人となっています。

項目	回答数	構成比
とれている	5	31.3%
まあとれている	10	62.5%
あまりとれていない	0	0.0%
とれていない	0	0.0%
どちらともいえない	1	6.3%
無回答	0	0.0%
合計	16	100.0%

問 介護支援専門員と医療機関（主治医）との連携はとれていると思いますか。（病歴や治療方針等の問い合わせなど）。（○は1つ）

「あまりとれていない」が9人と多く、続いて「まあとれている」が6人となっています。

項目	回答数	構成比
とれている	0	0.0%
まあとれている	6	37.5%
あまりとれていない	9	56.3%
とれていない	1	6.3%
どちらともいえない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	16	100.0%

問 介護支援専門員と行政や地域包括支援センターとの連携はとれていると思いますか。（○は1つ）

「まあとれている」が9人と最も多く続いて、「とれている」が4人となっています。

項目	回答数	構成比
とれている	4	25.0%
まあとれている	9	56.3%
あまりとれていない	2	12.5%
とれていない	0	0.0%
どちらともいえない	1	6.3%
無回答	0	0.0%
合計	16	100.0%

問 これまで、高齢者虐待が疑われるような事例を経験したことがありますか。（○は1つ）

「自分が経験したことがある」が10人と多くなっています。

項目	回答数	構成比
自分が経験したことがある	10	62.5%
ほかの人から聞いたことがある	4	25.0%
自分が経験したり聞いたことはない	2	12.5%
無回答	0	0.0%
合計	16	100.0%

問 今後充実させるべきだと思う介護予防事業はありますか。(○はいくつでも)

「閉じこもり予防」が13人と多く、続いて、「認知症予防」が11人、「運動器の機能向上(筋力アップなど)」が9人となっています。

項目	回答数	構成比
運動器の機能向上(筋力アップなど)	9	56.3%
栄養改善	4	25.0%
口腔機能の向上	2	12.5%
認知症予防	11	68.8%
閉じこもり予防	13	81.3%
うつ予防	7	43.8%
特にない	0	0.0%
わからない	0	0.0%
無回答	1	6.3%
回答者数	16	

問 「夜間対応型訪問介護サービス」は、必要だと思いますか。(○は1つ)

「必要だと思う」が7人と多く、続いて「今のサービスで十分」が5人となっています。

項目	回答数	構成比
必要だと思う	7	43.8%
必要だと思わない	1	6.3%
今のサービスで十分	5	31.3%
わからない	2	12.5%
無回答	1	6.3%
合計	16	100.0%

問 「24時間対応の定期巡回・随時対応サービス」は必要だと思いますか。(○は1つ)

「今のサービスで十分」が7人と多く、続いて「必要だと思う」が5人となっています。

項目	回答数	構成比
必要だと思う	5	31.3%
必要だと思わない	1	6.3%
今のサービスで十分	7	43.8%
わからない	2	12.5%
無回答	1	6.3%
合計	16	100.0%

(4) サービス提供事業者調査

問 貴事業所の概要について教えてください。

開設年では、「平成15年～17年」に開設した事業が5事業所と最も多く、組織形態では、「株式会社」、「有限会社」が同数の7事業所と多く、事業所の種類では、「民間サービス事業者」が7事業所と多くなっています。

【開設年】

項目	回答数	構成比
平成11年以前	2	8.7%
平成12年～14年	3	13.0%
平成15年～17年	5	21.7%
平成18年～20年	2	8.7%
平成21年～23年	3	13.0%
平成24年～25年	3	13.0%
無回答	5	21.7%
合計	23	100.0%

【組織形態】

項目	回答数	構成比
社会福祉法人	3	13.0%
社会福祉協議会	1	4.3%
福祉公社・事業団	0	0.0%
社団法人	0	0.0%
財団法人	0	0.0%
医療法人	4	17.4%
JA・生協	1	4.3%
株式会社	7	30.4%
有限会社	7	30.4%
NPO	0	0.0%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	23	100.0%

【事業所の種類】

項目	回答数	構成比
地域包括支援センター	0	0.0%
在宅サービスセンター	5	21.7%
デイケアセンター	2	8.7%
訪問看護ステーション	0	0.0%
民間サービス事業者	7	30.4%
短期入所施設	2	8.7%
介護老人福祉施設	1	4.3%
介護老人保健施設	4	17.4%
介護療養型医療施設	0	0.0%
グループホーム	2	8.7%
ケアハウス	0	0.0%
その他	3	13.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	23	

問 地域密着型介護予防サービスについて、事業参入の状況をお答えください。

(それぞれ○を1つ)

「特に検討していない」が多くなっていますが、「検討したことはあるが見送った」では、「介護予防認知症対応型通所介護」が3事業所、「参入を計画している」で「介護予防小規模多機能型居宅介護」、「介護予防認知症対応型共同生活介護」がそれぞれ2事業所となっています。

項目	現在提供している	参入を計画している	検討中	検討したことはあるが見送った	特に検討していない	わからない	無回答	合計
介護予防認知症対応型通所介護		1	0	3	13	1	5	23
介護予防小規模多機能型居宅介護		2	0	2	15	0	4	23
介護予防認知症対応型共同生活介護	0	2	0	2	12	1	6	23

問 地域密着型サービスについて、事業参入の状況をお答えください。

(それぞれ○を1つ)

「特に検討していない」が多くなっていますが、「認知症対応型共同生活介護」で「参入を検討している」が2事業所となっています。

項目	現在提供している	参入を計画している	検討中	検討したことはあるが見送った	特に検討していない	わからない	無回答	合計
夜間対応型訪問介護		0	0	1	16	0	6	23
認知症対応型通所介護		1	0	2	13	1	6	23
小規模多機能型居宅介護		0	1	1	14	1	6	23
認知症対応型共同生活介護	2	2	0	2	12	2	3	23
地域密着型特定施設入居者生活介護		0	0	1	14	2	6	23
地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護		1	0	1	14	2	5	23
定期巡回・随時対応型訪問介護看護		0	1	0	16	0	6	23
複合型サービス		0	0	0	15	2	6	23

問 境町内で、サービス提供量が不足していると思うサービスはありますか。

①介護予防サービス、②介護サービスのそれぞれについて、不足していると思うサービスに○をつけてください。(○はいくつでも)

介護予防サービスでは、「訪問入浴介護」、「訪問看護」、「訪問リハビリテーション」、「短期入所生活介護」が同数の3事業所となっています。

介護サービスでは、「訪問看護」、「訪問リハビリテーション」、「短期入所生活介護」が同数の5事業所となっています。

【介護予防サービス】

項目	回答数	構成比
訪問介護	2	8.7%
訪問入浴介護	3	13.0%
訪問看護	3	13.0%
訪問リハビリテーション	3	13.0%
居宅療養管理指導	0	0.0%
通所介護	1	4.3%
通所リハビリテーション	0	0.0%
短期入所生活介護	3	13.0%
短期入所療養介護	1	4.3%
特定施設入居者生活介護	1	4.3%
福祉用具貸与	1	4.3%
特定福祉用具販売	0	0.0%
居宅介護支援	0	0.0%
住宅改修	0	0.0%
介護老人福祉施設		
介護老人保健施設		
介護療養型医療施設		
無回答	16	69.6%
回答者数	23	

【介護サービス】

項目	回答数	構成比
訪問介護	4	17.4%
訪問入浴介護	4	17.4%
訪問看護	5	21.7%
訪問リハビリテーション	5	21.7%
居宅療養管理指導	1	4.3%
通所介護	1	4.3%
通所リハビリテーション	1	4.3%
短期入所生活介護	5	21.7%
短期入所療養介護	4	17.4%
特定施設入居者生活介護	2	8.7%
福祉用具貸与	1	4.3%
特定福祉用具販売	0	0.0%
居宅介護支援	0	0.0%
住宅改修	0	0.0%
介護老人福祉施設	3	13.0%
介護老人保健施設	2	8.7%
介護療養型医療施設	2	8.7%
無回答	10	43.5%
回答者数	23	

問 現在、経営において、問題になっていることはありますか。(○はいくつでも)

「介護の仕事に対する社会的評価が低い」が11事業所と最も多く、続いて「介護保険の報酬単価が低い」が9事業所、「運営コストが大きく利益が出にくい」、「介護報酬の計算、請求などの事務作業の負担が大きい」がそれぞれ8事業所となっています。

項目	回答数	構成比
運営コストが大きく利益が出にくい	8	34.8%
初期投資が大きく利益が出にくい	3	13.0%
介護報酬の計算、請求などの事務作業の負担が大きい	8	34.8%
利用者が散在していて効率が悪い	3	13.0%
介護保険の報酬単価が低い	9	39.1%
利用者とのトラブルが多い	0	0.0%
地域における知名度が低い	4	17.4%
他のサービス事業者との競争が激しい	1	4.3%
サービス内容の差別化が難しい	3	13.0%
利用者の開拓・確保が難しい	6	26.1%
利用者への情報提供・PRが難しい	3	13.0%
利用者のニーズが多く対処できない	1	4.3%
行政や他機関との連携・交流が薄い	5	21.7%
介護の仕事に対する社会的評価が低い	11	47.8%
その他	2	8.7%
無回答	0	0.0%
回答者数	23	